

生産性向上支援訓練の活用事例

《生産管理分野》

【会社概要】 産業用装置の高精度部品などの金属製品製造業

訓練受講のきっかけ（経緯）

同社は多品種・少量の生産形態。工程管理について、中堅層は理解しているが現場の担当者まで徹底できていないのが現状であり、「工程管理の見える化」、「操作手順の見える化」により、作業の効率化、合理化を図るため「生産現場の問題解決」の受講を希望された。

【訓練コース】 生産現場の問題解決

- ① 合理的な工程管理、納期管理の社内ルールの制度化と共有化
- ② 演習を通じた自社における課題提起と解決策の検討
- ③ 今後の訓練体系の確立と定着に向けた人材育成施策の展開

訓練の実施状況

訓練の概要

- 1回6時間×2回、計12時間 対象者：管理職、中堅社員15名
 - 主な内容
 - ①生産管理の基礎（工程管理、QCD、見える化等）
 - ②現状分析とムダの発見
 - ③改善活動における実践事例の紹介と効果的な改善のポイント
- 【演習】・ムダ発見と改善 ・手順書の作成要領 ・問題解決の手法

実施機関・講師紹介

【実施機関】 (株)パック協会
【講師】 日高 武久 氏



受講した感想

【受講者の声】

- 今後試したい事、やりたい事（2Sや教育計画、作業手順書など）がたくさんあった。
- 個人のスキルではなく社内共有のスキルになった為、実践しやすい。
- 訓練内容がかなり現場のニーズに近かった。
- ムダな作業や工程が少しでも減ると思う。
- 新しい知識を学ぶことができ、仕事上での課題を解決できそう。

【事業主の声】

- 整理整頓（2S）強化の契機となった。受講者が訓練を受講したことで自信が付き、部下・後輩に意欲的に指導するようになった。